



◎平成30年度《SSH3期指定2年目（継続12年目）》がスタートしました。

日比谷高校は、平成19年にSSHスーパーサイエンスハイスクールに指定されて以来、今年で、3期指定2年目を迎えました。近年、文部科学省は、日本が科学技術分野で世界を牽引するためには、イノベーションの創出を担う、科学技術関係人材の育成を中等教育段階から体系的に実施することが不可欠と提唱しています。こうした情勢を踏まえ、本校のSSH3期指定の研究開発課題を以下の通り設定し、新たな取組みを始めています。

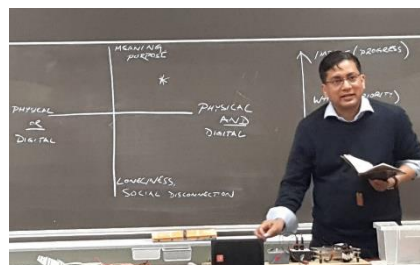
【本校SSH3期指定の研究開発課題】「幅広い知見と豊かな国際感覚を有し、卓越した高度な理数探究能力を発揮して未来の技術革新に貢献できる知的プロフェッショナル人材の育成」

特に、文部科学省は、SSH指定校の具体的な取組みとして「理数を重視した教育課程」「国際的な活動」「高大連携と企業連携」「アクティブラーニング」の充実を求めています。本校では、今年から全国に先駆けて次期学習指導要領の新科目「理数探究」を実施するとともに、昨年に引き続き国内外のグローバル企業と連携した取組みを強化、高大連携の充実等、本校の教育目標「グローバルリーダー育成」に向けて、東京都教育委員会指定の東京グローバル10事業と合わせてSSHの多様な教育活動を展開していきます。

◎富士通OIG(Open Innovation Gateway) スタッフ一同来日 《日比谷高校での研修》

米国西海岸のシリコンバレーは、グーグルやアップルをはじめとして、世界のIT関連企業が多数集結し、イノベーション技術開発の一大拠点となっています。そこでは、テクノロジーと融合した新しいビジネスモデルが、既存産業のエコシステムを根底から揺さぶり、新たな破壊的イノベーションを引き起こしています。日比谷高校のSSH海外派遣研修では、そのシリコンバレーの中心にある富士通OIG(Open Innovation Gateway)を訪問し、将来のイノベーション創出に向け「シリコンバレー研修」を行っています。富士通OIGは、富士通が2015年にアメリカのシリコンバレーに開設したプラットフォームであり、米国の大学、研究所、ベンチャーの多彩な人材と日本企業との接点を創り、協業・共創の促進を行っています。この度3月15日、富士通OIGのシニアディレクターであるモヒ・アメッド博士を始め、企業の成長戦略をユニークな視点で展開した著書『Find Your Next』を持ち、TED Talkにも出演され、スタートアップを立ち上げた経験もある米国起業家のアンドレア・ケイツ氏、お世話になった富士通OIGのスタッフの方々が来日され、本校を訪問していただきました。当日は、昨年の夏にお世話になった海外派遣研修生徒達が、物理室にて帰国後の研修成果のポスターを展示し待機しておりました。スタッフ一同が入室されると驚きと感動の再会となりました。黒板を使ってのアメッド博士による講義(OIGルームは、最新ITハイテクの会議室です。黒板が使われたの久しぶりとのことでした)や生徒達の研修が、まさか日比谷高校で再度受けられるとは生徒の誰もが予想しなかったことであり、大変感慨深い、実りある研修の再開となりました。

<http://www.fujitsu.com/jp/microsite/vision/insightful-stories/201712event/>



◎「SSH課題研究Ⅰ」 成果レポート発表会

3月20日、平成29年度「SSH課題研究Ⅰ」の研究成果レポート発表会が一階の理科教室及び理科ホールにおいて行われました。日比谷高校では、1年生全員が教科「探究活動」科目「SSH課題研究Ⅰ」に取り組み、理科・数学・情報等に関連する研究テーマを自ら設定し、研究仮説、研究計画を立て、実験・観察等行い研究活動を行います。当日は、1年生全員が取り組んだ研究成果レポートが展示され、生徒達は、お互いに他の生徒の研究成果を閲覧し、自己分析しました。こうした座学の授業とは違い、生徒が自ら主体的に取り組む活動は、国が一層力を入れていく教育活動であり「課題発見能力」や「プレゼンテーション能力」の育成にもつながります。

昨年の全国SSH校生徒研究発表会では、この「SSH課題研究Ⅰ」で取り組んだ研究作品が本校の代表研究となり、研究した生徒は、神戸の国際展示場ポスター会場で研究発表をしました。



◎東京都科学技術週間 《SSH中学生体験授業》

4月21日(土)の午後、日比谷高校の物理室において《SSH中学生体験授業》が行われ、30名の中学生とその保護者の方々に参加していただきました。授業テーマを「波と光」として本校物理科の教員2名によるチームティーチングで行いました。生徒と保護者が一緒に立ち上がりウェーブを作り、波とは何か、波の重ね合わせと独立性の話からスタートし、ウェーブマシンを全員が触り、作図やビデオ映像で確認しました。その後、水波の干渉、演示による音の干渉、レーザーを使って光の干渉縞を確認するヤングの実験、最後はミクロの世界での「光や電子の粒子性と波動性」の英語によるビデオ映像を紹介しました。参加した中学生には、短時間でしたが、実際に日比谷高校の物理の授業で行っている内容を体験してもらいました。



◎第15回国際地理オリンピック世界大会 《本校生徒派遣》

文部科学省・日本科学技術振興機構は、次世代人材育成事業として、科学の面白さや楽しさを体験してもらう数学、物理、化学、生物、地学、情報、地理等の国際科学技術コンテストに力を入れています。この度、本校生徒が2018年7月31日～8月6日、ケベック(カナダ)で行われる国際地理オリンピックに日本代表選手として派遣されます。

<p>日本数学オリンピック 国際数学オリンピック (IMO)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>化学グランプリ 国際化学オリンピック (IChO)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>日本生物学オリンピック 国際生物学オリンピック (IBO)</p> <p>▶ 応募要項</p>
<p>全国物理コンテスト 「物理チャレンジ」 国際物理オリンピック (IPhO)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>日本情報オリンピック 国際情報オリンピック (IOI)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>日本地学オリンピック 国際地学オリンピック (IESO)</p> <p>▶ 応募要項</p>
<p>科学地理オリンピック 日本選手権 国際地理オリンピック (IGeo)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>日本学生科学賞 国際学生科学技術フェア (ISEF)</p> <p>▶ 応募要項</p>	<p>高校生科学技術チャレンジ (JSEC) 国際学生科学技術フェア (ISEF)</p> <p>▶ 応募要項</p>

【お知らせ】 平成30年度《日比谷高校SSH成果報告会》 ……平成31年2月9日(土)……

午前:ポスター展示 1階理科棟 (内容)生徒課題研究

午後:口頭発表 大会議室 (内容)生徒課題研究 海外研修報告 卒業生報告 事業報告

※当日は、午前または午後のどちらかの参加も可能です。

※詳細、参加申込については、年度末に本校ホームページに掲載いたします。